

平成 17 年度「教育研究支援プロジェクト経費」成果報告書

プロジェクトチームの代表者 部・講座等名 言語系(英語)教育

氏 名 山森 直人

プロジェクトの名称	教育実習生の英語授業における 教室英語の使用とその指導に関する研究	配分 予算額	337,000 円
プロジェクトの概要	<p>本プロジェクトの目的は、(1)理論的観点及び教育現場的観点から英語教師に求められる教室英語の知識や技能を明らかにし、(2)教育実習における学生の教室英語の使用状況を把握することを通して、(3)将来英語教師を目指す学生に対する教室英語の指導のあり方を追究することにあつた。</p> <p>教育実習(実地教育V)期間前</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生(英語科教育コース)に対する英語力の向上のための指導 ・教室英語に関する先行研究の収集・概観・分析 ・教室英語に関する指導書・参考書等の収集 ・英語力育成のための指導書・参考書等の収集 <p>教育実習(実地教育V)期間中</p> <ul style="list-style-type: none"> ・附属校教員による英語授業の観察とビデオ撮影 ・附属校教員に対するインタビュー調査 (教室英語に関する課題、実習生の英語使用に関する意見等) ・教育実習生による英語授業の観察とビデオ撮影 <p>教育実習(実地教育V)期間後</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育実習生がもつ教室英語使用上の課題等に関する情報収集 ・撮影ビデオの分析 ・実地教育VI/XIにおける学生との協同的省察 ・協同的省察時のデータの収集 <p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データの分析 ・学生の英語学習の方向付け ・プロジェクトの総括と報告書の作成 		
成果の概要	<p>本プロジェクトの成果としては、次の点が挙げられる。</p> <p>(1)英語教師に求められる教室英語力の把握とその指導方針の確立 英語教師に求められる教室英語力の特徴を具体的に示し、教育実習生の教室英語力を評価できる指標を確立するとともに、教育実習生に対する指導の方向性を確定できた。将来的には現職英語教師に対する教室英語力の評価・指導にもたえうる指標や指導方法の開発へと発展させたい。</p> <p>(2)コア科目「初等中等教科教育実践」における教室英語の指導の準備 本プロジェクトを通して得た結果を、初等教科教育実践等における、教育実習の事前事後指導に活用できる。また、教育実習生に求められる教室英語の内実を附属校教員と共有していくことで、今後、附属校と連携して体系的・統一的に実習生の教室英語指導が行えるようになると思われる。</p> <p>(3)学部生の英語力に対する意識化とその後の英語学習への方向づけ 教育実習の事後指導において、学生とともに本人自身が用いた教室英語を分析し、授業に必要な英語力について何が必要で何が足りないかを自己認識させることができた。その結果を踏まえ、学生は次年度の教育実習に向けどのような英語力を備えればよいかその方向性を得たように思われる。</p> <p>(4)学生の英語力の向上 (3)の結果を経て、間接的ではあるが学生が自分の英語力の欠点を知り、それを今後の英語学習に活用していくものと思われる。</p> <p>(5)教員採用試験の準備 教室英語に関する知識・技能の指針を得たことで、学生は教員採用試験時の模擬授業等に備える糸口をつかめたように思われる。</p>		

(注) 1. 箇条書き等により簡明に記入すること。

2. 概要については、800字程度にまとめること。

3. 研究協力者として院生等が参加している場合、院生等の報告書があれば添付すること。

4. なるべくパソコン等で作成願います。